



研究用試薬

**ヒストファイン**

第一抗体

**抗アルギナーゼ-1ウサギモノクローナル抗体(AT用)**

(動物種：ウサギ)

包装： 50テスト(6.5mL)

Code： AT1813-1

製造販売元

**株式会社ニチレイバイオサイエンス**

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。

■**特異性および抗原分布**：ヒトアルギナーゼ-1と特異的に反応する。アルギナーゼは尿素サイクルの反応を触媒する酵素の一つで、アルギニンを分解して尿素とオルニチンを生成する反応を触媒する。アルギナーゼ-1とアルギナーゼ-2の2つのアイソザイムが存在する。アルギナーゼ-1は、正常では、肝臓細胞、顆粒球に反応がみられる。腫瘍では、肝細胞癌96.0%(高分化：100%、中分化：96.2%、低分化：85.7%)に反応がみられる<sup>(1)</sup>。腎細胞癌、神経内分泌腫瘍、メラノーマ、胃癌、副腎皮質がんではみられない<sup>(1)</sup>。前立腺癌(1/15)や肝内胆管癌(1/6)でもみられる<sup>(1)</sup>が、まれなため、肝細胞癌マーカーとして非常に有用である。

■**クローン名**：EP261

■**抗体のサブクラス**：Rabbit IgG

■**免疫原**：ヒトARG-1タンパクの残基に対応する合成ペプチド。

■**製法**：アフィニティー精製して得ている。

**1. 内容**

第一抗体・・・抗アルギナーゼ-1ウサギモノクローナル抗体(動物種：ウサギ)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6.5mLを含む。

**2. 使用目的**

組織・細胞中のヒトアルギナーゼ-1の染色。

**3. 使用方法**

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

**4. 染色方法の設定**

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
Arginase1-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	Arginase1-AT	20	25

**5. 貯法および使用上の注意**

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

## 6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

## 7. 参考文献

- (1) Yan BC, et al: Am J Surg Pathol 34(8): 1147-1154, 2010
- (2) Dana T. T. , et al: Am J Clin Pathol 138: 203-210, 2012
- (3) McKnight R., et al: Cancer Cytopathology 25: 223-229, 2012
- (4) M. Fujiwara, et al: Cancer Cytopathology 25: 230-237, 2012

■ 研究用としてのみ使用すること。